

26年10月分

問屋・仲買・小売商の荷動き・価格先行き動向

1. 調査実施期間 平成26年 9月20日～ 26年10月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は48社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/10月	11月	12月
仕入動向	国産材	△ 7.5	△ 9.0	△ 6.4
	外材	△ 6.8	1.2	△ 5.8
販売動向	国産材	△ 7.5	△ 1.3	△ 7.7
	外材	△ 3.4	1.2	△ 3.5
在庫動向	国産材	△ 6.3	△ 12.8	△ 10.3
	外材	△ 14.3	△ 4.9	△ 8.5

・国産材の仕入れは3ヶ月連続して減少、外材の仕入れは10月の減少が11月に微増するが、12月には再び減少。
・国産材の販売は3ヶ月連続して減少、外材の販売は10月の減少が11月に微増するが、12月には再び減少。
・国産材及び外材の在庫は3ヶ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	26/10月	11月	12月
スギ正角(グリーン)	0.0	1.9	0.0
スギ正角(KD)	0.0	1.6	0.0
ヒノキ正角	△ 1.6	△ 1.6	△ 3.3
ヒノキ土台角	△ 1.6	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	0.0	5.4	3.6
米ツガ防腐土台角	3.2	5.0	3.3
米ツガ割物(現地挽)	0.0	5.4	3.6
米マツ平角	△ 3.2	5.2	5.4
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 4.3	1.5	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 9.1	1.6	0.0
レッドウッド集成平角	△ 6.3	3.3	5.0
型枠合板(輸入)	22.6	23.3	14.3
針葉樹構造用合板	3.2	11.7	6.9
針葉樹構造用合板(厚物)	0.0	6.9	5.4

・スギ正角(グリーン・KD)は総じて保合、ヒノキ正角及び土台角はわずかな弱保合ないし保合。
・米ツガ製品は総じて保合ないしやや強保合。
・米マツ平角、北洋アカマツタルキ、ホワイトウッド及びレッドウッドは、10月のやや弱保合から11月及び12月は保合ないしやや強保合。
・型枠合板(輸入)は、強保合ないしやや強保合、針葉樹合板は保合ないしやや強保合。

モニターからのコメント

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>東京 (米材問屋) ・米松一般材丸太では、US物9月積み輸出値が半年ぶりに値上げに転じた、アラスカスプルス丸太等も輸出値アップで円安によるダブルのコストアップ。 (外材問屋) ・無風。 (集成材問屋) ・9月は荷動きが良くなったので仕入れも増えてきた。安値の材がなくなり手当しにくいものも出てきた。 (中国・南洋材問屋) ・産地雨期入りにて原木高値、製材工場の原木在庫も少なく高値唱え。 ・当月入荷予定なし、11月入荷予定あり。 ・産地は出材減で価格は据置も大幅の円安により原価の急上昇を招来している。 ・急速な円安のため仕入れは様子見、現地の価格は下がる気配なし。 (広葉樹等問屋) ・産地原料不足の状態。 (国産材問屋) ・スギ小割役物、入荷少なく集めるのに苦労。 ・ヒノキは弱い。 ・この市況では積極的に仕入れできず。 ・今のところ、仕入れの変化なし。 (仲買・小売) ・先月後半より目に見えて動きが悪くなっている。今月も景気の良い話は聞こえず、仕入れは減少する見通し。 ・ツガ材一部に品不足感あり、ツガ役物平板関係に良材少ない。 ・今が底と思い国産材を中心に仕入れを増やした。 ・11月決算につき仕入れに注意したい。 ・動きがない。11月から動き出すと各方面から耳にするが、どうか。 ・ハウスメーカーの天井野縁にエゾ垂木を使うため同材メインに仕入れ、販売もエゾ垂木をメインに出した、外材は横ばい。 ・見積もりもないので仕入れることが出来ない。</p> <p>大阪 (仲買・小売) ・単価は落ち着いている。</p> <p>東海 (外材問屋) ・全体に荷動き悪い、在庫はやや調整されるもまだ多い、年内は同じような動向では？ (仲買・小売) ・相場弱く先行きも上昇する兆候もないので仕入れは余分にしたくない、様子見の状態。 ・受注、販売、在庫とも微増。</p>
販売動向	<p>東京 (米材問屋) ・米松一般材丸太京浜マーケットでは集成平角との製材品の価格競争が厳しくなり、カスケード材も円安値上がり分を転嫁できない。 (外材問屋) ・7月～8月よりも9月の方が売れたようだ。 (集成材問屋) ・9月になり動き出てきた、東北はこれから良くなりそう。 (中国・南洋材問屋) ・完全な逆ザヤとなっている、仕入れ価格が相場を完全に上回っており以前からの売れ行き不振に円安がダブルで効いてきている。 ・見積もりは入るが単価面で合わない事が多い。 ・低位横ばい、注文応じきれず(材不足の為)。 ・今後値上がりする品目を買う動きが目立つ、特に問屋間での売買が増えている、実需は伴っていない。 (広葉樹等問屋) ・秋需は遅れて出てきそうな気配。</p>

販売動向	<p>(国産材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪いながらもやや回復感あり。 ・構造材は売れないが、造作材の動き良い。 ・増改築の加工付の細かい仕事ばかり。 ・反動減から回復が見られない、直ぐにピークを打ってこれからまだ悪くなるという向きも。 ・小割もの・板割は動きがいい。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまった物件がなく厳しいの一言。 ・戸建て物件は益々少なくなっている、リフォーム物件は多少の動き戻る。小規模マンション物件をそこそこに確保している工務店もある。 ・消費税増税の後、需要が回復せず、今後は回復次第。 ・動き良くない。 ・物は値上がり傾向、人は手配出来ない方向へと向かっている。 <p>ハウスメーカーの天井野縁にエゾ垂木を使うため同材をメインに仕入れ販売もエゾ垂木をメインに出した、外材は横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の大工さんに仕事がない状態。 <p>大阪</p> <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国産材減少、外材は前月と変わらず。 ・10月是新築物件あり、少し忙しくなりそう、11月、12月は？ ・6月以降に消費税反動の影響が少し良くなるかと思っていたが、7月、8月、9月も木材、新建材共に動き悪い。 ・関西圏特に大阪は景気に変更なし、まだ停滞が続いています。 ・リフォームによる間柱、造作化粧加工材の増加あり。 ・物件のズレ込み多くプレカットの稼働率が上がらない。 <p>東海</p> <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今が底値と思われるが、在庫がなくなれば次の入荷がかなり減るだろう。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今月より今年いっぱい忙しさ続く。 ・原木も下がり気味、お客様も買う気が少ない、無理に販売できる状況でない、動きは一進一退である。
在庫動向	<p>東京</p> <p>(米材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京浜港での丸太在庫は適正だが問屋預かり在庫が目立つようになった。 <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無風、変化なし。 <p>(集成材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～8月と在庫を意識的に抑えたが、9月は仕入れを増やし在庫も少し増加。 <p>(中国・南洋材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元来少なかった在庫のため、この急激な為替変動に全く対応できない。 ・円安で仕入れが減少しており今後の品物不足が懸念される。 ・入荷量少なく相変わらず欠品アイテムが目立つ。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3mのタルキがなかなか入ってこない、ラワンは2ヶ月かかった、日数がかかるものがあり注意したい。 ・通常在庫に徹して余分な在庫はしない。 ・動き悪いので仕入れ意欲がわからない。 ・横ばい。 ・増やすことは出来ない。 <p>東海</p> <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相場も上がる見込みが感じられないので大量在庫は置けない、当面無理な在庫は置きたくない。

<価格動向>。

スギ正角	<p>しばらく横ばいが続くと思う。(東京：仲買・小売) スギはしっかりしている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 動きなし。(東京：仲買・小売) 既に相場は底に近い、上がる気配ない、ただ円安で集成材が上がれば多少上がるかも、現状動き少ない。(東海：仲買・小売)</p>
ヒノキ正角土台角	<p>目立った動きなし。(東海：外材問屋) ヒノキが弱い。(東京：国産材問屋) 保合。(東京：仲買・小売) 落ち着いている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 需要なし。(東京：仲買・小売) 市場関係は閑古鳥が鳴いている。(大阪：仲買・小売) 国産材(スギ、ヒノキ)は原木高を問屋筋は唱え強含み、一部材の入荷不足で少し値上がりしたヒノキの土台、大引関係がある。(大阪：仲買・小売) 正角は相場変化なく弱含み、土台角の相場は底で下げないし上がる見込みも少ない、一戸建て減少で当分は動きにくいような状況が続くと思われる。(東海：仲買・小売) 先行き不透明。(東海：仲買・小売)</p>
米ツガ	<p>変わらず。(東海：外材問屋) 動きなく保合。(東京：仲買・小売) 落ち着いている。(東京：仲買・小売) 為替の関係でラワンベニヤが10月下旬から値上げと聞く、荷の動きは鈍いが為替の影響のため値上げは必死か。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 角物全く需要なし、割物1.5×1.3のみ需要ある。(東京：仲買・小売) 市場関係は閑古鳥が鳴いている。(大阪：仲買・小売) 円安で値上げの話来ている、土台以外はほとんど流通していない。(大阪：仲買・小売) 防腐土台角安定。(東海：仲買・小売)</p>
米マツ平角	<p>為替が変化しているので価格は流動的。(東京：外材問屋) 原木は上昇しているらしいが製品は動き悪く価格横ばい。(東海：外材問屋) 保合。(東京：仲買・小売) 落ち着いている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 市場関係は閑古鳥が鳴いている。(大阪：仲買・小売) 需要は少ないが円安で下げまでには至らない。(大阪：仲買・小売) 円安で値上げの話来ている、土台以外はほとんど流通していない。(大阪：仲買・小売) 先高感あり。(東海：仲買・小売)</p>
北洋アカマツタルキ	<p>変わらず。(東海：外材問屋) 相場は保合、とにかく3mが入ってこない。(東京：仲買・小売) 3m不足感は変わらず。(東京：仲買・小売) 落ち着いている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 市場関係は閑古鳥が鳴いている。(大阪：仲買・小売) 需要は少ないが円安で下げまでには至らない。(大阪：仲買・小売) 若干の先高感あり。(東海：仲買・小売)</p>
WW・RW集成材	<p>集成平角は需要出れば上昇するかも。(東京：外材問屋) WW1,850円/本。RW59,000円/m³。(東海：外材問屋) 今が底か、荷動き出れば円安もあり価格上昇すると思う。(東京：集成材問屋) 保合。(東京：仲買・小売) 円安が進んでいるのが今の動きでは上がることはなさそう。(東京：仲買・小売) 落ち着いている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 市場関係は閑古鳥が鳴いている。(大阪：仲買・小売) 集成平角は少し下がった、ただし、この先もズルズル下がることはないだろ。(大阪：仲買・小売) 先高感あるが不透明。(東海：仲買・小売)</p>
合板	<p>針葉樹構造用合板930円/枚、厚物2,250円/枚。(東海：外材問屋) 実際どうなるか分からないが、ベニヤ類は上がると良く耳にする。(東京：仲買・小売)。型枠は強い、針葉樹は需要が少ないせいメーカーのアナウンスの割に値戻しが進んでいない(東京：仲買・小売) 輸入合板は上がっている、針葉樹はメーカーが言うほど上がっていない。(東京：仲買・小売) 円安の影響がどうなるか。(東京：仲買・小売) 合板関係はほぼ横ばいだが針葉樹合板が多少動きそう。(東京：仲買・小売) 商社にて値上げの調整か？。(東京：仲買・小売) ラワン材の値上がりによりベニヤ価格UP。(大阪：仲買・小売) やや下がり気味。(大阪：仲買・小売) 型枠合板はリフォームによる合板、内装建材の出荷増。(大阪：仲買・小売) 合板も動きは悪いが下げるとこまで来ていない。(大阪：仲買・小売) 構造用合板は生産調整で一部値上がりあるが、当社は現状当用買いの状況。(東海：仲買・小売)</p>